



日本公開天文台協会きょうかい

7月1～3日の3日間、ギャラクシティで日本公開天文台協会（JAPO）の年会かいさいが開催されました。この会は、全国で観望会かんぼうかい（ギャラクシティでは「星を見る会」）や天文普及活動ふきゅうを行っている施設しせつや団体・個人だんたい こじん さんかが参加している会で、「まるちたいけんドーム」も会員として参加しています。



天体観望施設かんさつは、星の良く見える場所よ（都会か

彗星の見え方について講演する渡部潤一先生。

ら離れた場所はな）にあることが多く、都内の施設で同会の会員になっているのは、わずか3か所しかありません。今回は、都内で開催されたこともあり、全国から134名もの参加者があり、29件けんの研究発表じれいほうこくや事例報告じょうせききょうじゆがありました。国立天文台上席教授で、まるちたいけんドームのアドバイザーでもある渡部潤一先生わたなべじゆんいちによる、この秋から冬に接近する彗星せつきん すいせいについての講演会こうえんかいも行われ、一般の方々いっばんにも入場いただき、盛会せいかいでした。

全国で行われている、観望会はそれぞれユニークで工夫くふうを凝らしたものです。大きな天体望遠鏡てんたいぼうえんきょうを持つ施設ひかりがいや、光害のない暗い空めぐに恵まれた場所で行われる観望会は、ギャラクシティのスタッフからは、とても羨ましいものです。逆に、ギャラクシティのようにプラネタリウムへいせつが併設され、星を見ながら事前説明せつめいを行うことができ、悪天候の時でもイベントを成立させることができることは、それを持たない施設からは羨ましく感じられるようです。いろいろな意味さんこうで参考になることも多い会でした。次回は来年6月頃ころ ほくりく、北陸石川県で開催予定です。

2024年9月17日（解説員：田部 一志かいせつじん たべ いっし）